2025/10/22

業況観測アンケート(2025年度 第2四半期)調査結果

(前年同期比)

集計企業数 30社

(アマア 下旧)日外次弁)		出荷数量 動向			出荷金額 動向			製品在庫 (期末)		製品価格 動向				
	前期	当 期	来期	前期	当期	来期	前期	当 期	来期	前期	当期	来期		
+50%超	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
+45%~+50%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
+40%~+45%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
+35%~+40%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
+30%~+35%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
+25%~+30%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
+20%~+25%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
+15%~+20%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.2	0.2	0.0	0.6	0.6	0.0		
+10%~+15%未満	0.0	0. 1	0.0	9. 1	7. 9	0.0	0.4	0.5	0.0	0.2	0.3	0.8		
+5%~+10%未満	9. 3	0.4	0.1	2.3	0.6	0.4	0.2	0.7	0.3	8.0	9. 9	0.4		
+ 5 %未満	3. 4	9. 5	2.2	3. 7	7. 9	14.6	3. 3	13. 3	16.2	9.8	10.0	18.3		
± 0 %	1. 1	3. 7	6.7	1.5	1. 9	6.3	3. 4	5. 5	5. 6	13.2	10.8	12. 1		
- 5 %未満	5. 4	7. 2	21.3	5.8	12.8	10.1	15. 9	3. 6	1.5	0.2	0.4	0.4		
- 5 %~-1 0 %未満	11.9	10.4	1.5	9. 4	0.6	0.7	8.4	0.2	8.4	0.0	0.0	0.0		
- 10%~-15%未満	0.3	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.2	8. 1	0.0	0.0	0.0	0.0		
- 1 5 %~- 2 0 %未満	0.5	0.4	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
- 20%超	0.0	0. 1	0.0	0.0	0. 1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		





(前年同期金額比)

集計企業数 30社

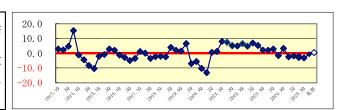
当期(7~9月)実績

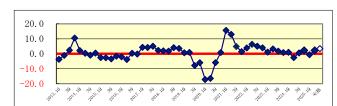
建	築	建築資材 道路車両		船舶•構造物	機械·電気 機械·金属	木工製品	家庭用	トラフィック		
-0	. 8	0. 1	0. 1	0.9	-1.8	2. 2	-8.5	-2.4	-1.0	

メーカーのコメント例

建築・外装

・都市再開発やインフラ改修 案件等の需要は増加傾向も、 新築マンション他、住宅着工 件数は伸び悩んでおり、資材 価格の高騰も続いている。人 手不足や技能者単価の上昇も あり前年比減微減となった。





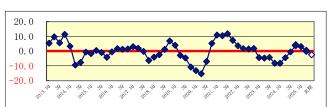
メーカーのコメント例

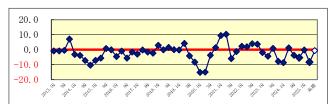
機械・電気機械・金属製品

・デジタル機器向けプラス チック用塗料は前期比マイナ スで、建機、農機具関連も低 調であったが、家電・自動車 部品、工作機械、粉体塗料は 堅調に推移し、前年比増が見 込まれた。

建築資材

・主力のアルミサッシ、PC M建材中心に回復傾向ではあるが、建築基準法改正前の住宅 窓質材の価格は横ばい傾向であった。全体的には数量、金額とも前年並みで推移した。



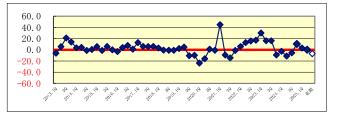


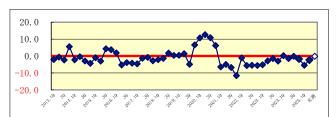
木工製品

・住宅着工件数並びに床面積 の減少で家具・木工建材の新 規需要も低調に推移した。一 部でリフォーム、都市開発に 絡んだ内装関係で堅調な面も あったがコスト高も加わり、 大幅な前年比減となった。

新車

・本年度に入り昨年度の不振 から回復傾向とみられている 面もあるが、一部メーカーで の新型車の投入遅れやトラン プ関税の影響への懸念もあ り、前年維持を見込む。



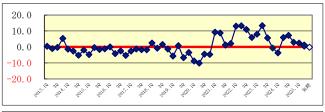


家庭用

・ネット販売は徐々に売り上げを伸ばしているが、ホームセンター各社の売上は前年を下回り厳しい状況が続いている。 酷暑による一般消費者の屋外作業の敬遠の影響もあったとみられる。

|補修

・補修車両の入庫数は横ばいで、作業者不足、働き方改革による作業時間の減少も影響し、出荷数量減となったが、環境対応製品等の高価格帯品が好調で、全体的には金額微増傾向であった。



20. 0 10. 0 0. 0 -10. 0 -20. 0

トラフィックペイント

・公共事業を中心に前年並みで、区画線材料は例年通りの 出荷見込みである。カラー舗 装関係は安全対策が一巡し出 荷減少傾向であり、原材料 費、光熱費の高騰で利益的に 厳しい状況。

船舶·構造物

- ・船舶関連は、新造船の建造 サイズの小型化等で前年に比 ベ数量は減少傾向。修繕用は 比較的堅調であった。
- ・構造物は一部プラント案件 の需要が伸びたが、都市部の 再開発需要の減少が予測され 低調傾向が続いている。



- ◆ 業種別動向観測アンケート(四半期)の回答の 「前期」・「当期」データを月次の解析方法に従って計算した。
- ◇ 「来期予測」回答データを同様に計算した。

全体

・建築や造船での数量減少 や、各種分野での人手不足も あり、販売数量の低迷傾向は 継続しており、全体的な停滞 感が見受けられる。コスト店 を販売価格にある程度転嫁さ れていることから、金額は上 昇が続く。

業種別動向観測アンケート (2025年度第2四半期) 調査結果

(前年同期比)

集計企業数 30社

(アンケート値)

	建築・外装		- 1 出土 1 出土		建築資材		道路車両					船舶・構造物			機械・電気機械			木工製品			家庭用			トラフィック			
	产来 / 表			建笨貝的		新車				補修			//II//III 1 117 / 117/12 197/			・金属製品			/ 八 工 表 印			家庭用 			ペイント		
集計企業数	前期	当期	来期	前期	当期	来期	前期	当期	来期	前期	当期	来期	前期	当期	来期	前期	当期	来期	前期	当期	来期	前期	当期	来期	前期	当期	来期
+50%超	1	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
+45%~+50%未満	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
+40%~+45%未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
+35%~+40%未満	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
+30%~+35%未満	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
+25%~+30%未満	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
+20%~+25%未満	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0
+15%~+20%未満	0	1	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
+10%~+15%未満	1	1	2	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
+5%~+10%未満	1	0	3	1	2	3	3	2	2	1	0	1	0	0	0	3	3	3	0	1	0	0	0	1	0	0	0
+ 5 %未満	2	5	5	4	2	4	2	1	3	1	2	1	5	1	1	1	4	7	3	0	0	1	1	0	2	1	0
± 0 %	1	1	4	2	2	1	1	3	3	2	2	1	0	2	3	6	3	3	0	2	4	1	0	4	0	0	1
- 5 %未満	7	6	4	0	0	1	2	3	0	1	1	2	3	1	2	7	4	3	0	1	3	2	4	1	0	1	1
- 5 %~- 1 0 %未満	4	2	1	0	1	1	1	0	3	0	0	0	1	3	1	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	1
- 10%~-15%未満	0	2	1	0	2	0	0	0	0	0	1	1	0	1	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
- 15%~-20%未満	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	2	0
- 20%超	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1